

「史跡めぐりBコース」

1 学校名

鹿児島県立垂水高等学校

2 学年・人数

全校生徒（計 135 名）

3 日時・場所

平成 30 年 12 月 8 日（金） 垂水市水之上・猿ヶ城方面

4 伝承・活用に取り組んでいる伝統芸能，伝統行事について

（1）名称

おんだんこら（女男河原）祭り

（2）由来

白山神社の祭礼で，垂水市水之上地区にある「小野田」には，その昔，白山神社の「神田」があり，そこを「御田」と呼んでいました。その付近の河原を「御田の河原」と呼び，「御田河原」を「おんだんこら」そして，「女男河原」と書くようになりました。当日は，白山登山や作品展示鑑賞，演芸大会が行われ，たくさんの方で賑わいます。（観光情報サイト「観るなび」より転載）

<http://www.nihon-kankou.or.jp/kagoshima/462144/detail/46214ba2210128085>

（3）構成等

直接行事に参加するのではなく，史蹟めぐりBコースをめぐりながらその行事を知る。

5 保存会や地域との連携の具体

垂水市観光協会の川崎あさ子さんの協力を得て，3年前にBコースが完成した。今年度は，川崎さんの紹介で垂水市文化財保護審議会委員の瀬角龍平さんの協力を全面的に得るとともに，本年度は，水之上公民館の方の協力も得た。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本市を横断する本城川沿いに進み，牧の薬師如来像，おんだんこら祭りの現在の開催地，勝軍地蔵（市内唯一の県指定文化財）と市内の有形・無形の文化財の話聞く。

そして，本城川から取水され，垂水市の水田耕作を潤わせた通称よめじょ川用水の取水口を見て，その用水路沿いに歩くことで，先人の英知と行動力を実感する。手貫神社では，中世の領地争いや神社の意味を学び，帰路に孝子市太郎の墓，垂水島津家墓地，林之城跡・お長屋（現垂水小学校）の各史跡を見て，総距離約 17km を踏破した。

7 取組の様子



本校ブログ (TaruBlo) より

<http://tarumizu.edu.pref.kagoshima.jp/archive/2018/12/>

8 参加生徒・教員の感想・意見（抜粋）

- ・ 牧の薬師如来像は、イボの数だけ豆をお供えすると聞き、面白いと思った。
- ・ 勝軍地蔵は、中学の時にも行ったことがあったが、もう一度廃仏毀釈の理由などが聞けて良かった。
- ・ 勝軍地蔵とそれを守る二体の仏像を守った村の人々がすごいと思った。
- ・ おんだんこら祭りは毎年行っているのであまり古くないのかと思っていたけれど、とても古いことにびっくりした。
- ・ よめじょ川取水口では、3代もかけて、水をつなげたことに、よくあきらめずにやったなと感心してしまいました。
- ・ 手貫神社の刀には驚いた。
- ・ 私の祖父の名前が呼ばれて、とてもうれしく、びっくりした。
- ・ 特に孝子市太郎の墓は、とても印象に残りました。父を助けるために、自分でできることを見つけて積極的に行動していた孝子市太郎は、本当に素晴らしい人だったんだなあと思いました。
- ・ 垂水島津家墓地には、とても立派な墓があり、16代までの墓があると知り、とてもビックリしました。
- ・ お話をしてくださった瀬角さん、今日はありがとうございました。